

島谷ひろのり

しまや 議会レポート



プロフィール

- 出身：青森県八戸市
- 生年月日：昭和 55 年 2 月 13 日
- 学歴：八戸工業高等専門学校（電気工学科）卒業
- 家族：妻と長女・次女の 4 人家族
- 現住所：日野市旭が丘 2 丁目
- 趣味：野球観戦、ランニング、山登り

みんなの想いを力に変えて確かな未来を創る!!

令和元年第4回日野市議会定例会が、11月29日から12月17日まで開催されました。今議会では日野市一般会計補正予算（第5号）の審議を中心に活発な議論が交わされました。提出された議案については賛成多数で可決となっております。一般質問は23名の議員が行い、私は『台風15号・19号の災害を、今後の「自助・共助・公助」の取り組みに活かそう。』と題し、質問しております。以下、主な内容をご報告させていただきます。

■令和元年第4回定例会 議案等審議結果についての詳細は日野市議会HPへ
<http://www.city.hino.lg.jp/shigikai/gian/1000873.html> 日野市HP ページID 1000873

I. 台風19号 日野市内の被災および対応状況について（抜粋）

令和元年10月11日（金）から13日（日）にかけて大きな被害を及ぼした台風19号に対する日野市の対応の概要をご報告させていただきます。

■日野市の被災状況及び対応概要について

台風19号は日野市にも12日早朝から13日未明にかけて大きな影響を及ぼし、死者1名（多摩川河川敷生活者）、床上浸水1棟、床下浸水15棟、下水管の吹き出し1カ所、道路冠水数カ所、日野橋橋脚沈下通行不能の被害（10月15日現在）をもたらしました。

12日早朝から深夜までに浅川の観測点で536mmの降水量を記録したほか、指定避難所26カ所中17カ所を開設し、避難者は最大約8,600人となりました。また間違えて避難してくる市民も予想されたため、17カ所以外の9カ所の避難所にも職員を配置した体制をとりました。

避難者の急激な増加や気温が低下してきたこと、市の備蓄している毛布が約2,000枚であったこと等から、各避難所より毛布の追加が要請され、東京都の連絡員を通じ当初毛布3,000枚の追加要請、更に3,000枚を追加要請し必要な避難所へ輸送しました。

■日野橋の復旧について

台風19号の影響で日野橋の橋脚が沈下し通行止めが続いております。

東京都より「日野橋の復旧については令和元年11月下旬より工事に着手し、令和2年梅雨前の復旧（交通開放）を目指す。」との報告がありましたのでお知らせいたします。

日野市として一日も早い復旧に向け協力してまいります。

■令和元年台風19号避難所（まとめ）

No.	浸水想定	学校名	22:00時点避難者数
1		一小	920
2		豊田小	480
3		三小	227
4	●	四小	5
5		五小	294
6		六小	124
7	●	潤徳小	1
8		平山小	674
9		八小	1,038
10	●	滝会小	0
11		七小	865
12	●	南平小	15
13		旭が丘小	420
14		東光寺小	226
15	●	仲田小	0
16		夢が丘小	308
17		七生緑小	362
18	●	一中	0
19		二中	502
20	●	七生中	1
21		三中	179
22		四中	497
23		三沢中	810
24		大坂上中	700
25	●	平山中	0
26	●	ふれあいホール	1
計			8,649

II. 各種行政調査、研修会の参加について

① 環境まちづくり委員会行政調査（令和元年10月17日・18日 新潟県燕市及び見附市）

環境まちづくり委員会行政調査において、新潟県燕市では空き家対策、新潟県見附市では都市部と村部が持続して歩いて暮らせる健幸都市「スマートウェルネスみつけ」の施策を学んでまいりました。

施設を市街地に集約し、それらと各地域をつなぐ公共交通網を整備するなど、人口減少下でも持続するまちづくりを進めており、実際に医療費の抑制や介護認定率の低さにつながっております。

今回の2つ自治体の調査は、いずれもまちづくりについての事例です。日野市とは地理的特徴も違いますが、それぞれの実情や課題の中で参考に出来るところを今後の日野市政に反映させていきたいと考えております。

② 全国市長会主催 第81回全国都市問題会議（令和元年11月7日・8日 鹿児島県霧島市開催）

全国の市議会議員が集結する会議での今回のテーマは「防災とコミュニティ」。専門家による基調講演や代表市の一般報告、先進事例から、日野市に活かせる事例について検討を進めてまいります。



Ⅲ. 島谷ひろのり一般質問（概要）

1. 台風15号・19号の災害を、今後の「自助・共助・公助」の取り組みに活かそう

●島谷ひろのり議員 今回の台風による対応について、実績を整理して次に生かしていくことが重要となる。台風15号、19号での日野市地域防災計画に則った市の職員の配置について伺う。また、今回の避難所運営で使った備品を補充する費用について、購入品と金額について伺う。

◆日野市 15号、19号共に台風接近3日前より副市長をトップとした部間連絡会を開催し、まちづくり部には土嚢の準備・パトロール班の編成、環境共生部においては用水の管理・パトロール班の編成、健康福祉部においては災害時避難行動要支援者に対する注意喚起、企画部にはホームページによる注意喚起、教育部に関しては避難所開設のための準備態勢を引いた。台風19号においては、接近前日に市長をトップとする災害対策本部会議を開催、避難所の開設について等を決定した。26か所ある指定避難所の内、洪水ハザードマップエリア外17か所の指定避難所を開設し、避難者数は最大約8,600名であった。当日10月12日における市の職員の対応人数は約400名で、予備費充当にて購入するものについては、アルファ米等の食料、保存水、毛布、タオル、トイレトイレットペーパー等で5,148千円になる。

●島谷ひろのり議員 今回の対応を「もし平日だったら」「もし通勤・通学・通園していたら」など一歩踏み込んでブラッシュアップし訓練に活かすことが重要。また、台風被災当日を乗り切る一次避難で限られた施設のスペースを譲り合い、協力しあい、助け合うこと。「自助」や「互助」、「共助」の重要性を広めるためにも、記憶が鮮明な早期に啓発することを要望する。

車で避難について指定避難所だけではキャパシティが足りない。長期間ではなく台風襲来当日を耐え忍ぶ方法として、早期避難を前提として「車避難」も柔軟に検討すべきではないか？例えば、民間企業の立体駐車場を「車避難先」として活用できるような企業との協定締結について、検討を進めるべきと考えるが、日野市の見解を伺う。

◆日野市 車を避難させるための場所というものは、現状市は検討していない。また、車の中での避難というものについても推奨は難しいし、火災・トイレ等の心配もあるため立体駐車場開放については難しいと考えている。

●島谷ひろのり議員 二次災害、三次災害のリスクから難しいとの見解だが、洪水ハザードマップエリア内や内水による冠水が見受けられる地域を優先するなど、車避難方法の柔軟性を見出すことは日野市全域で助け合う仕組みでもあり早期避難を判断する「避難者」の意識、初期行動も変わる。引き続きの課題整理をお願いしたい。

2. 幼児教育・保育無償化後の適正な施設運営及び利用について、日野市の考えを問う

●島谷ひろのり議員 2019年10月から始まった幼児教育・保育無償化。利用する子どもたちの安心安全、従業員への賃金改善など、新しい制度運営に適合させた見直しは経営側の立場に立てば必要なことであり、仮に費用を変更と判断した場合の中身を見極めることが重要である。値上げすることが単純に施設の「社会的地位の低下」につながるようなことは避けなければいけないし、施設として正当だと判断しうる理由が実は内在しているのに値上げに踏み切れないことは、逆にあってはならないことだと考える。

日野市内の幼児保育無償化対象の施設で「値上げ」を判断した園の有無について。また、値上げした園があったならば、「値上げ」の判断を日野市としてどう整理したかを伺う。

◆日野市 幼児教育無償化の実施にあたって、保育料の改定を行った施設は、私立幼稚園の1施設。改定の理由としては、教育環境の充実に向けた人材確保を行うためとしており、質の向上を伴う保育料の改定であることを確認できている。

●島谷ひろのり議員 東京都認証保育所側は、市側認可保育所と補助金額も異なること、また預かり時間を保護者の希望に沿って契約できる園も多く、保育無償化後の園の利用について不安を抱いている。市として、改めて東京都認証保育所の実情と課題を整理頂きたい。

「幼児教育無償化の制度の具体化に向けた方針」

では、『質の向上を伴わない理由のない保育料等の引き上げが行われ、結果として国等の財政負担により事業者の利益を賄うことのないよう、関係団体や都道府県、市町村等とも連携し、実態の調査及び把握について検討していくとともに、事業者に対する周知徹底を図る。』こととされている。施設からの値上げの理由が示されない、あるいは示された理由に具体性がない場合や、無償化等の対象者のみ引き上げる場合、又料金の見直しにより実質的な値上げとなっている場合等が、質の向上を伴わない理由のない保育料等の引上げの事例として挙げられており、これらに該当する場合は、いわゆる「便乗値上げ」に該当する。

■ 一般質問の録画中継は日野市役所 HP で視聴できます。

<http://www.hino-city.stream.jfit.co.jp/>



市政や生活に対するお問合せはお気軽にご連絡ください。

島谷ひろのり相談室

TEL:042-581-8509 FAX:042-585-6005

E-mail:shimaya-kouenkai@fujielectric.com

HP <https://www.shimaya-hironori.com>

f <https://www.facebook.com/shimaya.hino>



ひろのりWeb



facebook



豊田駅近く、富士電機東京工場東門より徒歩1分です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

編集・発行：島谷ひろのり後援会

住所：東京都日野市富士町1番地 TEL:042-582-3005 FAX:042-581-0133